

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋市立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤシリツダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ実習2
	学部・研究科等名	人文社会学部
	担当教職員名・役職	奥田 伸子・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	2
	受入企業等名	名古屋市役所男女平等参画室、名古屋市男女平等参画推進センター
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	名古屋市役所男女平等参画室、および名古屋市男女平等参画推進センターでの業務に従事
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本インターンシップは専門科目で、2単位ではあるが、その他の関連する専門科目の受講を強く勧め、実務と産学との二方面から教育的効果をあげることを目指している
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に教員が受入団体に赴き、学生の活動の見学、団体との意見交換を行う
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	担当教員が、名古屋市の男女平等推進政策の概要を説明し学生の理解を深める
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターン受け入れ先の担当者と教員に対して、インターンシップの内容、学んだ点、反省点などを報告する会を行う
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターン期間中に行われる、公開行事に教員が参加し、受け入れ団体と意見交換を行うとともに学生の活動を見学、また学生の意見を聞く
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターン中に活動日誌をつけ、終了後に提出させている。終了後に事後報告会のための準備会を行い、意識の変容について確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間(うちインターンシップ実施期間10日)
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏季休業中に名古屋市役所、男女平等参画センターで業務を行うインターンシップをそれぞれで概ね5日行う。(連続した5日間とはならない。)
要素	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	7.その他

⑥	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	インターンの前後に、受入団体と担当教員が入念に内容について打ち合わせるとともに、学生の評価を口頭でフィードバックしていただく。
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	・プログラムについて、団体と教員が打ち合わせを行う・学生の評価について、担当者(特に名古屋市役所)からフィードバックを受ける
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	名古屋市立大学
	担当部署名	山の畑事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	上利 正樹
	電話番号	052-872-5808
	メールアドレス	agari-masaki@sec.nagoya-cu.ac.jp